

2006.03.06

斐伊川流域の水辺を考える懇談会 Vol. 4

【内容】現地踏査結果から、「自然」「利用（人の利用・土地利用）」「景観」毎に、特徴を整理した。

		宍道湖北岸 【松江しんじ湖温泉入り口～鹿園寺灘付近】	宍道湖西岸 【鹿園寺灘付近～五右衛門川】	宍道湖南西部 【五右衛門川～宍道中学校付近】	宍道湖南岸（西部） 【宍道中学校付近～鳥ヶ崎付近】	宍道湖南岸（東部） 【鳥ヶ崎付近～忌部川河口】
利 用	自然	<ul style="list-style-type: none"> ●湖面と緑が交互に現れ、自然を感じることができる。 ●西部では山並みが湖岸まで迫っている。 ●ところどころ湖岸と道路の間にヨシや樹が生えている。 ●東部では田園が広がっており、冬には白鳥が飛来してくる。 ●十六禿と呼ばれる岩肌があらわになった絶壁の自然景観が目を引く。 ●水際に接することができる空間が点在しており、宍道湖の自然を楽しむことができる。 ●冬には鳥類が湖岸に分布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広大な農地が広がり、鳥のえさ場となっている。 ●湖岸に再生されたヨシと砂浜が豊かな生態系を育てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●西岸に農地が広がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●来待、宍道では、シジミ漁等自然の恩恵を受けた営みを感じられる。 ●冬には鳥類が湖岸に分布する。 ●湖岸にヨシが分布している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●玉湯川河口付近では、シジミ漁等自然の恩恵を受けた営みを感じられる。 ●冬には鳥類が湖岸に分布する。 ●湖岸にヨシが分布している。
	利用者	<ul style="list-style-type: none"> ●西部の湖面と山に挟まれた集落では、生活の一部として水辺を利用している。 ●殆どが通過交通として利用。 ●秋鹿なぎさ公園ではヨットなどのマリンスポーツや水辺の散策等が行われ、ティファニー美術館前では、遊歩道がたまり場となり、宍道湖の景観を楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●豊かな自然の中で、散歩、野鳥観察、憩い、いやしなど自然と触れあう空間として利用されている。 ●周辺の限られた地域からの利用がほとんどである。 ●宍道湖グリーンパーク周辺では、環境学習の場としての利用もされている。 ●子どもたちは宍道湖に入って、水に親しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●宍道支所前の水際には、釣りを楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●西部では、商業・工業・農家・漁業・住宅が混在し、生活を営む場として広く利用されている。 ●鉄道や車の車窓から時折覗く湖面を見ながら移動している。 ●殆どが通過交通として利用。 	<ul style="list-style-type: none"> ●玉造温泉玄関口。湖岸の殆どは、観光地までの移動ルートとして利用されている。 ●鉄道や車の車窓から時折覗く湖面を見ながら移動している。
	土地特性	<ul style="list-style-type: none"> ●松江市街地近郊の田園集落・漁村集落として人口や施設の集積がみられる。 ●西部では、秋鹿なぎさ公園・フォーゲルパークなどスポット的な利用がみられるものの、多くは谷間から続く湖岸に農村・漁村集落が点在している。 ●西部の道路は殆どが湖岸を走る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●湖岸に砂浜、ヨシ帯が再生され、多自然型の護岸整備がされている。 ●広大な農地が広がっており、その中に集落が点在。 	<ul style="list-style-type: none"> ●出雲空港があり、地域の空の玄関口として広く利用されている。 ●国道9号と国道54号の結節点から西側は、商工混在の施設が並ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●宍道・来待は、生活の場として、商・工・住・農・漁混在の土地利用。 ●時折、湖岸を走る鉄道や道路からはヨシ植生や砂浜がみられる。 ●湖岸と道路の間に比較的大きな空間が点在し、湖岸近くまで接することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●玉造温泉を中心としたエリアから旧国民宿舎にかけては、人口も多く商工施設もみられる。 ●玉湯川河口付近の集落以外は、道路が水際を走る。 ●松江の街並みを望みながら移動できる。
景観	<ul style="list-style-type: none"> ●宍道湖の水際を走り、野鳥や湖面に映る光など、自然の景観を楽しむ水辺。 ●宍道湖水辺八景の内、「冬の十六禿」と「秋の満願寺灘」がある。 ●西岸・南岸からは、緩やかな山並みと湖面の調和した良好な景観となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広大は平野と野鳥など自然を感じる景観。 ●湖岸に再生された砂浜やヨシ植生は、自然を感じさせる景観。 ●天候によっては、対岸の松江市街地を望むこともできる。 ●宍道湖水辺八景の内、「グリーンパークの夏」がある。 ●北岸からは簸川平野と背後に三瓶山を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●西の玄関口として初めて宍道湖を望む景観。 ●湖岸に再生された砂浜やヨシ植生は、自然を感じさせる景観。 ●宍道湖水辺八景の内、「亀のいる風景」がある。 ●北岸からは簸川平野と背後に三瓶山を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●道路と湖岸が離れている静かな所も多く、車窓から時折見える水面は、水辺に生きる人々の営みを感じる景観。 ●北岸からは山並みを望む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●玉湯付近から松江市街地や美しい夜景の全景を望める。 ●宍道湖水辺八景の内、「春の玉湯湖畔」がある。 ●北岸からは山並みを望む。 	

2006.03.06

斐伊川流域の水辺を考える懇談会 Vol. 4

【位置づけ】 現地踏査結果から、「自然」「利用（人の利用・土地利用）」「景観」毎に、特徴を整理

		宍道湖東岸 【忌部川河口～松江しんじ湖温泉】	大橋川上流 【宍道湖大橋～くにびき大橋】	大橋川中流 【くにびき大橋～多賀神社付近】	大橋川下流 【多賀神社付近～大橋川河口】	
利 用	自然	<ul style="list-style-type: none"> ●都市の中において、夕日・水鳥・湖面といった自然を楽しむことができる。 ●護岸は、マツ植栽、親水空間、芝生広場、ベンチといった環境整備がおこなわれ、都市の中に上手く水辺が取り込まれ利用されている。 ●水際に接することができる空間が続いており、宍道湖の自然を感じることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水際近くまで道路や建物があり、水辺空間を間近に感じることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●農地、野鳥、植生、山林、空、水面など、自然の中に溶け込んでいる。 ●ヨシが分布している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広い農地をえさ場とする水鳥や、自然河岸など、身近に自然を感じる水辺。 ●ヨシが分布している。 	
	利用者	<ul style="list-style-type: none"> ●連続する親水空間は、ジョギング・釣り・散歩・憩いの場所として多くの人に利用されている。 ●松江しんじ湖温泉への宿泊客や、移動途中の観光客も足を止める等観光資源にもなっている。 ●水際の空間がたまり場となり、釣りや宍道湖の景観を楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●国際文化観光都市である松江を訪れる人の多くが、この上流部を観光する。 ●松江城、堀川遊覧など観光資源も豊富 	<ul style="list-style-type: none"> ●川沿いに走る道路を移動ルートとして利用している。 ●農業、漁業など生活の一部として利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●川沿いに走る道路を移動ルートとして利用している。 ●農業、漁業、住宅など生活の場として利用している。 	
	土地特性	<ul style="list-style-type: none"> ●人口・事業所・公共施設が集積し、都市的土地利用がみられる。 ●道路は湖岸を走るところが多い。 ●都市の憩いの場として、良好な親水空間が整備されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●両岸に、住宅・商業・業務施設が混在する市街地を形成。 ●水辺近くまで集落が立地している。 ●主に南岸は都市化が進み、北岸は伝統的な街並みや観光地が存在する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●中州や大橋川沿いに広がる農地と、背後の集落からなる田園地帯 	<ul style="list-style-type: none"> ●川沿いや、道路沿いに集落が立地。 ●大橋川河口付近の北岸にまとまった農地がみられる ●出雲国風土記にも登場する歴史・文化が残る場所。 	
	景観	<ul style="list-style-type: none"> ●宍道湖の夕日を最も美しく望むスポットなど、宍道湖と夕日の景観を楽しむ水辺。 ●市街地の夜景を楽しめる水辺 ●宍道湖のシジミ漁、朝霧、朝日など、天候や時間によって作りだされる景観を楽しめる水辺。 ●宍道湖水辺八景の内、「嫁ヶ島残照」と「美術館のある水辺」がある。 ●宍道湖対岸から宍道湖と市街地が調和した良好な景観となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●朝日、朝霧、柳並木、シジミ漁、夜景などいろいろな表情をもつ大橋川上流。 ●南岸は市街地を背景とした都市的景観。 ●北岸は老舗旅館が並ぶなど、落ち着いた佇まいを見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広大な農地が広がる自然豊かな景観。 	<ul style="list-style-type: none"> ●昔ながらの集落が落ち着いた佇まいを感じる景観。 ●水際植生や、広大な農地など自然を感じる景観。 ●北岸からは、遠くに大山を望む。 	